

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体			
		<b>Q 建築物の環境品質</b>						<b>2.6</b>	
<b>Q1 室内環境</b>			<b>0.36</b>				<b>2.5</b>		
<b>1 音環境</b>		<b>2.6</b>	0.15				<b>2.6</b>		
1.1 室内騒音レベル		<b>3.0</b>	0.40						
1.2 遮音		<b>3.0</b>	0.40						
1 開口部遮音性能		<b>3.0</b>	1.00						
2 界壁遮音性能		-	-						
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)									
4 界床遮音性能(重量衝撃源)									
1.3 吸音		<b>1.0</b>	0.20						
<b>2 温熱環境</b>		<b>2.4</b>	0.35				<b>2.4</b>		
2.1 室温制御		<b>2.7</b>	0.50						
1 室温		<b>3.0</b>	0.45						
2 外皮性能		2.0	0.20						
3 ゾーン別制御性		<b>3.0</b>	0.35						
2.2 湿度制御		<b>1.0</b>	0.20						
2.3 空調方式		<b>3.0</b>	0.30						
<b>3 光・視環境</b>		<b>2.0</b>	0.25				<b>2.0</b>		
3.1 昼光利用		<b>3.0</b>	0.51						
1 昼光率		-	-						
2 方位別開口									
3 昼光利用設備		<b>3.0</b>	1.00						
3.2 グレア対策		-	-						
1 昼光制御		-	-						
3.3 照度		-	-						
3.4 照明制御		<b>1.0</b>	0.49						
<b>4 空気質環境</b>		<b>3.2</b>	0.25				<b>3.2</b>		
4.1 発生源対策		<b>4.0</b>	0.50						
1 化学汚染物質	ほぼ全面的にF☆☆☆☆建材を採用	<b>4.0</b>	1.00						
4.2 換気		<b>2.0</b>	0.30						
1 換気量		<b>3.0</b>	0.50						
2 自然換気性能		-	-						
3 取り入れ外気への配慮		<b>1.0</b>	0.50						
4.3 運用管理		<b>3.0</b>	0.20						
1 CO <sub>2</sub> の監視		<b>3.0</b>	0.50						
2 喫煙の制御		<b>3.0</b>	0.50						
<b>Q2 サービス性能</b>		-	<b>0.30</b>				<b>3.2</b>		
<b>1 機能性</b>		<b>3.1</b>	0.40				<b>3.1</b>		
1.1 機能性・使いやすさ		<b>3.0</b>	0.40						
1 広さ・収納性		-	-						
2 高度情報通信設備対応		-	-						
3 バリアフリー計画		<b>3.0</b>	1.00						
1.2 心理性・快適性		<b>3.3</b>	0.30						
1 広さ感・景観	売場の天井高3.7m	<b>5.0</b>	0.33						
2 リフレッシュスペース		<b>2.0</b>	0.33						
3 内装計画		<b>3.0</b>	0.33						
1.3 維持管理		<b>3.0</b>	0.30						
1 維持管理に配慮した設計		<b>3.0</b>	0.50						
2 維持管理用機能の確保		<b>3.0</b>	0.50						
<b>2 耐用性・信頼性</b>		<b>3.0</b>	0.30				<b>3.0</b>		
2.1 耐震・免震・制震・制振		<b>3.0</b>	0.50						
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		<b>3.0</b>	0.80						
2 免震・制震・制振性能		<b>3.0</b>	0.20						
2.2 部品・部材の耐用年数		<b>3.2</b>	0.30						
1 躯体材料の耐用年数		<b>3.0</b>	0.20						
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		<b>2.0</b>	0.20						
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	ビニル床タイル20年、内壁ビニルクロス20年、天井石膏ボード30年	<b>5.0</b>	0.10						
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		<b>3.0</b>	0.10						
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	硬質塩ビ管(VP)を使用	<b>4.0</b>	0.20						
6 主要設備機器の更新必要間隔		<b>3.0</b>	0.20						
2.4 信頼性		<b>3.0</b>	0.20						
1 空調・換気設備		<b>3.0</b>	0.20						
2 給排水・衛生設備		<b>2.0</b>	0.20						
3 電気設備	自家発電設備(非常用電源設備)を備えている	<b>4.0</b>	0.20						
4 機械・配管支持方法		<b>3.0</b>	0.20						
5 通信・情報設備		<b>3.0</b>	0.20						

<b>3 対応性・更新性</b>			<b>3.6</b>	0.30	-	-	<b>3.6</b>
<b>3.1 空間のゆとり</b>			<b>5.0</b>	0.30	-	-	
1 階高のゆとり	階高平均値4.0m		5.0	0.60	-	-	
2 空間の形状・自由さ	壁長さ比率0.06		5.0	0.40	-	-	
<b>3.2 荷重のゆとり</b>			<b>3.0</b>	0.30	-	-	
<b>3.3 設備の更新性</b>			<b>3.0</b>	0.40	-	-	
1 空調配管の更新性			3.0	0.20	-	-	
2 給排水管の更新性			3.0	0.20	-	-	
3 電気配線の更新性			3.0	0.10	-	-	
4 通信配線の更新性			3.0	0.10	-	-	
5 設備機器の更新性			3.0	0.20	-	-	
6 バックアップスペースの確保			3.0	0.20	-	-	
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>			-	<b>0.34</b>	-	-	<b>2.1</b>
1 生物環境の保全と創出			<b>2.0</b>	0.30	-	-	<b>2.0</b>
2 まちなみ・景観への配慮			<b>2.0</b>	0.40	-	-	<b>2.0</b>
<b>3 地域性・アメニティへの配慮</b>			<b>2.5</b>	0.30	-	-	<b>2.5</b>
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			<b>3.0</b>	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			<b>2.0</b>	0.50	-	-	
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>			-	-	-	-	<b>2.8</b>
<b>LR1 エネルギー</b>			-	<b>0.40</b>	-	-	<b>2.1</b>
1 建物外皮の熱負荷抑制			<b>1.0</b>	0.20	-	-	<b>1.0</b>
2 自然エネルギー利用			<b>3.0</b>	0.10	-	-	<b>3.0</b>
<b>3 設備システムの高効率化</b>			<b>1.9</b>	0.50	-	-	<b>1.9</b>
集合住宅以外の評価			1.9	1.00	-	-	
集合住宅の評価			-	-	-	-	
<b>4 効率的運用</b>			<b>3.5</b>	0.20	-	-	<b>3.5</b>
集合住宅以外の評価			<b>3.5</b>	1.00	-	-	
4.1 モニタリング	BEMSの導入		4.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制			3.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価			-	-	-	-	
4.1 モニタリング			-	-	-	-	
4.2 運用管理体制			-	-	-	-	
<b>LR2 資源・マテリアル</b>			-	<b>0.30</b>	-	-	<b>3.0</b>
<b>1 水資源保護</b>			<b>3.4</b>	0.20	-	-	<b>3.4</b>
1.1 節水	節水型便器・自動水栓を採用		<b>4.0</b>	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			<b>3.0</b>	0.60	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無			3.0	0.70	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.30	-	-	
<b>2 非再生性資源の使用量削減</b>			<b>2.6</b>	0.60	-	-	<b>2.6</b>
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.11	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.22	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			3.0	0.22	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用			1.0	0.22	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			-	-	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	LG5工法により容易に分別可能		4.0	0.22	-	-	
<b>3 汚染物質含有材料の使用回避</b>			<b>3.7</b>	0.20	-	-	<b>3.7</b>
3.1 有害物質を含まない材料の使用			<b>3.0</b>	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			<b>4.0</b>	0.70	-	-	
1 消火剤			-	-	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)	発泡剤を用いた断熱材は使用していない		5.0	0.50	-	-	
3 冷媒			3.0	0.50	-	-	
<b>LR3 敷地外環境</b>			-	<b>0.30</b>	-	-	<b>3.5</b>
<b>1 地球温暖化への配慮</b>	LCCO2排出率83%		<b>3.6</b>	0.33	-	-	<b>3.6</b>
<b>2 地域環境への配慮</b>			<b>3.6</b>	0.33	-	-	<b>3.6</b>
2.1 大気汚染防止	電気温水器を採用し、燃焼機器は使用していない		<b>5.0</b>	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			<b>3.0</b>	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			<b>3.5</b>	0.25	-	-	
1 雨水排水負荷低減			3.0	0.25	-	-	
2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
3 交通負荷抑制	適切な量の駐車場が確保されている		5.0	0.25	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
<b>3 周辺環境への配慮</b>			<b>3.2</b>	0.33	-	-	<b>3.2</b>
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			<b>3.0</b>	0.40	-	-	
1 騒音			3.0	1.00	-	-	
2 振動			-	-	-	-	
3 悪臭			-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			<b>3.0</b>	0.40	-	-	
1 風害の抑制			3.0	0.70	-	-	
2 砂塵の抑制			-	-	-	-	
3 日照阻害の抑制			3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			<b>4.4</b>	0.20	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	広告物照明にタイマー制御を採用		5.0	0.70	-	-	
2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30	-	-	

評価する取組み	合計	合計2	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	No.8	No.9	No.10	No.11	No.12	No.13
<b>Q2 サービス性能</b>															
1.2.3 内装計画	2.0	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1.3.1 維持管理に配慮した設計	5.0	-	-	○	○	-	○	-	○	-	-	○	-	-	-
1.3.2 維持管理用機能の確保	4.0	-	-	-	○	-	○	○	-	-	○	-	-	-	-
2.4.1 空調・換気設備	1.0	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.2 給排水・衛生設備	1.0	1.0	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.3 電気設備	3.0	2.0	○	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.5 通信・情報設備	2.0	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>															
1 生物資源の保全と創出	4.0	-	2.0	-	2.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2 まちなみ・景観への配慮	1.0	-	-	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	2.0	-	-	-	1.0	-	-	1.0	-	-	-	-	-	-	-
3.2 敷地内温熱環境の向上	5.0	-	-	1.0	3.0	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
<b>LR1 エネルギー</b>															
2 自然エネルギー利用	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
<b>LR2 資源・マテリアル</b>															
1.2.2 雑排水等再利用システム導入の有無	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.1 材料使用量の削減	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	1.0	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.1 有害物質を含まない材料の使用	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
<b>LR3 敷地外環境</b>															
2.2 温熱環境悪化の改善	7.0	-	1.0	-	3.0	3.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.3.3 交通負荷抑制	4.0	-	1.0	-	1.0	1.0	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-
2.3.4 廃棄物処理負荷抑制	3.0	-	-	1.0	1.0	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.2.2 砂塵の抑制	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.3.1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	4.0	-	2.0	2.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

主な指標	
<b>Q1 室内環境</b>	
2.1.3 外皮性能	窓システムSC 0.6 窓の日射熱取得率(η) 0.5 U値(W/m2K) 窓システム 5.1 屋根 0.4 外壁 1.5 床 0.4 住戸部分 窓システムU値 - 外皮UA値 - ηAC - ηAH - 屋光率 - 自然換気有効開口面積率 -
3.1.1 屋光率	執務スペース - /人 病床 - /床 シングル - ツイン -
4.2.2 自然換気性能	コンセント容量 - VA/m <sup>2</sup> 天井高 3.7 m リフレッシュスペース - レストスペース - 想定耐用年数 - 年 想定必要間隔 - 年 想定必要間隔 20 年 想定必要間隔 - 年 階高 4 m 壁長さ比率 6.0% 床荷重 - N/m <sup>2</sup>
<b>Q2 サービス性能</b>	
1.1.1 広さ・収納性	執務スペース - /人 病床 - /床 シングル - ツイン -
1.1.2 高度情報通信設備対応	コンセント容量 - VA/m <sup>2</sup>
1.2.1 広さ感・景観	天井高 3.7 m
1.2.2 リフレッシュスペース	リフレッシュスペース - レストスペース -
2.2.1 躯体材料の耐用年数	想定耐用年数 - 年
2.2.2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	想定必要間隔 - 年
2.2.3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	想定必要間隔 20 年
2.2.6 主要設備機器の更新必要間隔	想定必要間隔 - 年
3.1.1 階高のゆとり	階高 4 m
3.1.2 空間の形状・自由さ	壁長さ比率 6.0%
3.2 荷重のゆとり	床荷重 - N/m <sup>2</sup>
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>	
1 生物資源の保全と創出	外構緑化指数 27% 建物緑化指数 0%
3.2 敷地内温熱環境の向上	空地率 42% 水平投影面積率 46% 地表面対策面積率 12% 舗装面積率 30%
<b>LR1 エネルギー</b>	
1 建物外皮の熱負荷抑制	BPI/BPI <sub>m</sub> 1.13 断熱等性能等級 0 相当
2 自然エネルギー利用	自然エネルギー直接利用量 0 MJ/年m <sup>2</sup> 採光を満たす教室数 - 採光を満たす住戸数 - 通風を満たす教室数 - 通風を満たす住戸数 - 太陽光 - 太陽熱等 - 蓄電池 -
3 設備システムの高効率化	BEI/BEI <sub>m</sub> 再エネ有 0.78 無 0.78 オフサイト再エネ有 - - 一次エネ削減率 再エネ有 無 - -
<b>LR2 資源・マテリアル</b>	
1.2.1 雨水利用システム導入の有無	雨水利用率 -
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	特定調達品目 - エコマーク商品 - 自治体指定の特定品目等 -
2.5 持続可能な森林から産出された木材	使用比率 0.0%
3.2.1 消火剤	オゾン層破壊係数(ODP) 地球温暖化係数(GWP)
3.2.2 発泡剤(断熱材等)	オゾン層破壊係数(ODP) 地球温暖化係数(GWP)
3.2.3 冷媒	オゾン層破壊係数(ODP) 地球温暖化係数(GWP)
<b>LR3 敷地外環境</b>	
2.2 温熱環境悪化の改善	見付面積比 32% 隣棟間隔指標Rw 5.35 地表面対策面積率 11.0% 屋根面対策面積率 #DIV/0! 外壁面対策面積率 #DIV/0! 見付面積Sb 596m <sup>2</sup> 卓越風向と直交する最大敷地幅Ws 112.21 m 基準高さHb 16.36 m 緑地 987m <sup>2</sup> 水面 m <sup>2</sup> 保水性対策面 m <sup>2</sup> 高反射対策面 m <sup>2</sup> 再帰性反射対策面 m <sup>2</sup>